

製造業向けオンラインセミナー

グローバル化に伴うDX推進に対する次なる展開 日本型設計生産システムにおける国際競争力復権への次なる施策とは

グローバル生産体制の進行に伴う日本型設計生産システムのDX推進の次なる局面は、整備してきたERPに追従できるエンジニアリングチェーンの拡充と連携です。このセミナーでは、自社経営方針と協調するため、伝統的な日本型設計生産ノウハウを可視化・体系化しシームレスに連携し一体化したデジタル化の必要性を参考事例を踏まえて解説致します。

日時 2021年**11月11** 日(木) 13:00 – 15:00

開催方法 オンラインセミナー（申込後ログインURLを送ります）

定員 先着 **20** 名様

第1部
13:00 -
13:45

第一部 講演者：株式会社ISIDビジネスコンサルティング
経営戦略第1ユニット ユニットディレクター 榎田光宏 様
「設計生産情報を整然化するBOM設計の考え方」

講演概要：

DX推進において、“ものづくりコントロールタワー”として、BOMが注目されています。本講演では、E-BOM、M-BOMの設計法に加え、運用上、最も重要なE-BOM、M-BOM連携の設計法について、ご紹介します。

講師プロフィール

製造業にて、半導体デバイス開発、半導体計測装置の開発に従事。コンサルティング会社に転身し、事業戦略、新規事業開発、BOMを起点とした全社業務改革を担当。15年に渡って、BOMを起点とした全社業務改革経験を持つ。

第2部
13:50 -
14:35

第二部 インフォシスリミテッド 雨海真人
**「製造業におけるデータ連携について
—PLMからのデータ連携における事例紹介—」**

講演概要：

なぜデータ連携が必要となるか？ Infosysでのデータ連携の考え方、Infosysが行ったデータ連携の事例ご紹介、といった内容を通して製造業におけるデータ連携についてご説明致します。

15:00まで **Q&Aセッション**

お問い合わせ・お申込

株式会社モアソンジャパン 営業本部
榎本純一郎(マサムトジュンイチロウ)
j.masumoto@morson.jp

主催 インフォシスリミテッド